

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	新公会計制度アドバイザー会議
日 時	令和4年8月24日(水) 13時30分～15時35分
場 所	府庁本館4階 会計検査室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)：武田特別参与 谷口特別参与 (職 員 等)：会計管理者兼会計局長 会計指導課長、課長補佐 他 会計指導課職員
論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度財務諸表について ・その他
主 な 意 見	<p>資料2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸借対照表のコメント、「資産、負債はともに増加し、純資産額は増加」は、「資産の増加が負債の増加を上回り、純資産は増加」と記載してはどうか。 ・「行政活動キャッシュ・フロー収支差額」のコメント、「行政活動キャッシュ・フロー収支差額は、負担金・補助金・交付金等の支出の増加などにより減少」とあるが、投資活動収支差額でマイナスになっているので、マイナス要因としては、財政調整基金の積立と思うので、それを記載してはどうか。 <p>資料3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ページと7ページの『臨時財政対策債償還基金費等の創設などにより』の部分、「創設に伴うなどにより」と記載してはどうか。 ・1ページ後段「物件費も増加(+509億円)となっています。そのため、行政収支差額は増加(+829億円)となっています」の「そのため」は「その結果」と記載してはどうか。 ・4ページ固定資産の減損状況で、藤井寺高等学校の減損対象は「一部」なので、その旨わかるよう記載を追加してはどうか。

<p>結 論</p>	<p>資料2について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 貸借対照表のコメント、「資産、負債はともに増加し、純資産額は増加」は、「資産の増加が負債の増加を上回り、純資産は増加」と記載する。 • 「行政活動キャッシュ・フロー収支差額」のコメントは、「行政活動キャッシュ・フロー収支差額は、財政調整基金積立金にかかる支出の増加などにより減少」と記載する。 <p>資料3について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1ページと7ページの『臨時財政対策債償還基金費等の創設などにより』の部分は「創設に伴うなどにより」と記載する。 • 1ページ後段「物件費も増加（+509億円）となっています。そのため、行政収支差額は増加（+829億円）となっています」の「そのため」は「その結果」と記載する。 • 4ページ固定資産の減損状況で、藤井寺高等学校については、減損対象の帳簿価額を記載し、減損対象土地の「一部」である旨追記する。
<p>説明等資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 議事次第 • 【資料1】 令和3年度財務諸表（各会計合算） • 【資料2】 令和3年度大阪府新公会計制度財務諸表の概要 • 【資料3】 令和3年度大阪府新公会計制度財務諸表について <p>なお、これらの資料については、令和4年8月24日現在であり、会議での指摘等による修正があります。</p> <p>最終の財務諸表等については、下記の資料を確認ください。 ※最終の財務諸表についてはこちら（リンク） http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/newzaimusyohyou/index.html</p>
<p>関係部局 （室課）</p>	